



にしかん

第342号

令和3年(2021年)

7月11日

毎月第1・3日曜日発行

【編集・発行】新潟市西蒲区役所 地域総務課
〒953-8666
新潟市西蒲区巻甲2690番地1
電話 0256-73-1000(代表)
FAX 0256-72-6022

≪ 西蒲区ホームページ ≫
<http://www.city.niigata.lg.jp/nishikan/>

● 西蒲区データ 人口 55,365人 (-57) 世帯数 20,733世帯 (+9) 男 26,840人 (-35) 女 28,525人 (-22)

※5月末現在の住民基本台帳。
カッコは前月末比



西蒲区特色ある区づくり事業

なないろ野菜 夏特集



7月16日は、なないろ野菜の日!!
7月16日(金)・17日(土)で、なないろ野菜販売フェアを開催!

生産者がおすすめレシピを紹介!
購入者にはプレゼントもあり!

直売所でなないろ野菜を含めて500円以上購入した人各日先着50人に、なないろ野菜をプレゼントします。
※天候などにより、配布数を変更する場合があります
回7月16日(金)・17日(土)午前10時～正午
※7月17日(土)午前10時～正午には、にいがた観光親善大使も直売所でお待ちしています
越王の里 農産物直売所



にいがた観光親善大使

ぐる～んバスに乗って、なないろ野菜引換券をGET!

車内になないろ野菜のポスターなどで装飾を行った「にしかん観光周遊ぐる～んバス」に、にいがた観光親善大使とまち歩きガイドが乗車し、案内します。乗車した人に、直売所で使える「なないろ野菜引換券」をプレゼントします。

※配布数に限りがあります
回7月17日(土) 親善大使とまち歩きガイドの乗車する便は、下記の便限定です。

午後1時24分 いわむろや 始発
午後2時44分 いわむろや 着

バス停:新潟市岩室観光施設いわむろや

所在地:新潟市西蒲区岩室温泉96番地1

※途中での乗降車自由。乗車定員に限り有
※別途、バス料金が必要です(1回300円または1日500円)

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、上記イベントが中止となる場合があります

この機会に、西蒲区を巡ってみませんか



ぐる～んバスの詳細はこちら



にしかん なないろ野菜で食卓を彩りませんか?

にしかん なないろ野菜(以下、なないろ野菜)は、「色や大きさ、形などに特徴のある珍しい野菜」を令和元年よりブランド化して、販売を開始しました。

現在、約50品種の野菜を30人ほどの生産者が生産しており、JA越後中央の越王の里農産物直売所で販売中です。



販売コーナーのご案内

越王の里 農産物直売所 (JA越後中央)
所在地 新潟市西蒲区竹野町2435-1
営業時間 午前10時～午後3時(定休:木曜)
連絡先 ☎0256-72-2332

Facebook



●若手職員が生産者へ直撃インタビューをしました!

倉沢 キクヨ さん(西蒲区仁箇)

安全安心な野菜を食べてほしい

虫がつかないように栽培時期を工夫して、農薬をなるべく使わないようにしています。

なないろ野菜を始めたきっかけとして、私にできるものを挑戦してみたいと思い、栽培を始めました。栽培方法について、新しい情報を得るために、先輩の農家さんに聞いたり、なないろ野菜生産者向けの研修会に参加するなどしています。



今シーズンの栽培品目

ワインドレス、ミニキュウリ、もものすけ、タネなっぴーなど11品種

ミニキュウリはピクルスとして、ワインドレスという紫色のリーフレタスは、サラダにすると色が鮮やかでおすすめです。



ワインドレス(紫リーフレタス)

大岩 年也 さん(西蒲区安尻)

人と同じものを作っては、人と同じようにはかからない

人と同じでは、競合してしまうから、変わったものを作りたいと思い、なないろ野菜の栽培を始めました。

珍しい野菜をたくさん作ってきたため、栽培自体はあまり難しく感じませんが、今年は3・4月に天候が悪く、強風や霜害に苦労しました。

今後の目標として、栽培面積を増やして、食べた方が喜んでくれる野菜を作り続けたいです。



今シーズンの栽培品目

カーボロネロ、リーキ、ケール、ラディッキオなど10品種

カーボロネロは、黒キャベツと呼ばれ、ビタミンやミネラルが多く含まれ、栄養価が高い野菜です。肉巻きにして食べるのがおすすめです。ラディッキオは、ほのかな苦みとサクサクとした食感が特徴で、生でも加熱しても食べられます。



カーボロネロ

●巻北小学校の児童が直売所を見学しました

6月4日(金)に、新潟市立巻北小学校2年生の児童93人が生活科の授業で越王の里 農産物直売所を訪れました。生産者の大岩年也さんが講師となり、野菜の栽培方法や、なないろ野菜についてわかりやすく説明しました。

講師への質問の時間になると、たくさんの手が挙がり、「雑草を防ぐ方法は?」「野菜を収穫してからどうやって運ぶか?」など、真剣に聞いていました。児童は小学校でのトマトの栽培に活かすため、熱心にメモを取っていました。その後、児童は直売所を見学し、なないろ野菜を見て、「初めて見た!」「これ何?」と興味津々の様子でした。

